

J R 総連通信

2023年6月7日 No.1651

全日本鉄道労働組合総連合会（JR総連） <http://www.jr-souren.com>

JR総連 第39回定期大会開催！



JR総連は6月5日、目黒さつきビル会議室において「第39回定期大会」を開催し、向こう一年の方針を確認しました。

山口執行委員長より、「2023 JR総連春闘は『統一要求・統一闘争』にこだわってたたかい抜き、全ての加盟単組で定昇確保とベアを勝ち取り、労連への波及効果を生み出すことができた。成果と課題を共有し 2024 JR総連春闘へとつなげる議論を要請する」と述べた上で、「JR東日本で発生している懲罰的な日勤教育やライフサイクルなどの働き方が起因する安全問題、ローカル線存続にむけた取り組み、防衛三文書に基づき戦争体制の強化が着々と進んでいく危険な動向」など、JR総連が直面する諸課題について挨拶を述べました。

また、ご来賓として、連合より石上副事務局長、交運労協より住野議長にご出席を賜り、JR総連に対する叱咤激励のご挨拶をいただきました。

大会質疑では、15名の代議員から2023 JR総連春闘を中心に、第20回統一地方選挙、ローカル線存続にむけた地域との連帯運動、安全問題、平和を希求する取り組みなど、実践に基づく発言が出されました。その後、熊谷書記長より総括答弁をおこない、この一年間のたたかいで培われた連帯・共闘の力を団結力に高め、新たな一年に挑んでいくことを確認し、大会は成功裡に終了しました。